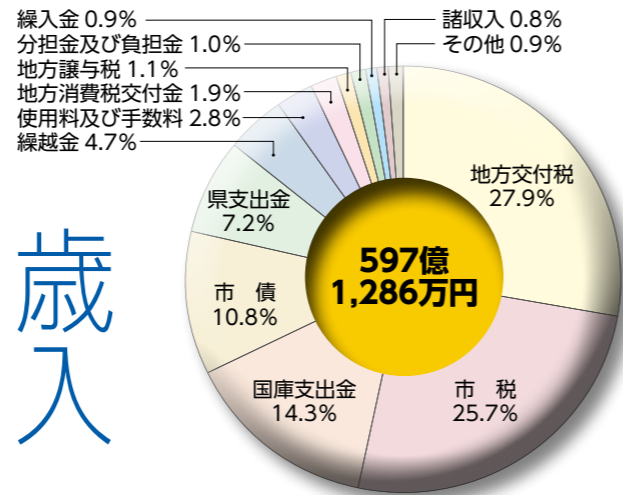


普通会計の決算状況

この普通会計の決算は、国が毎年実施する平成25年度地方財政状況調査（決算統計）により作成したものです。
霧島市の普通会計は、一般会計から市場管理を除き、後期高齢者医療制度の一部を追加したものです。

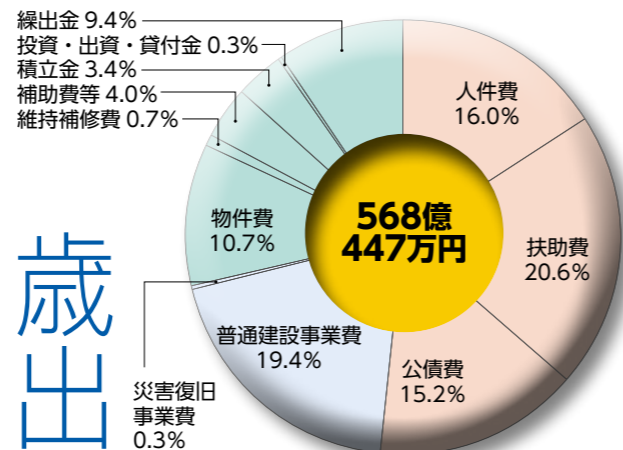
◎歳入

	平成25年度決算額	平成24年度決算額	対前年度増減額
地方交付税	166億4,374万円	168億1,574万円	▲1億7,200万円
市 税	153億6,554万円	152億9,585万円	6,969万円
国庫支出金	85億1,567万円	70億6,150万円	14億5,417万円
市 債	64億2,810万円	65億1,930万円	▲9,120万円
県支出金	43億 463万円	33億1,655万円	9億8,808万円
繰越金	27億7,337万円	22億6,565万円	5億 772万円
使用料及び手数料	16億7,062万円	16億8,183万円	▲1,121万円
地方消費税交付金	11億3,501万円	11億4,477万円	▲976万円
地方譲与税	6億7,782万円	6億6,667万円	1,115万円
分担金及び負担金	5億8,991万円	5億4,870万円	4,121万円
繰入金	5億4,082万円	16億4,204万円	▲11億 122万円
諸収入	4億9,221万円	6億6,850万円	▲1億7,629万円
その他	5億7,542万円	5億1,095万円	6,447万円
計	597億1,286万円	581億3,805万円	15億7,481万円



◎歳出（性質別）

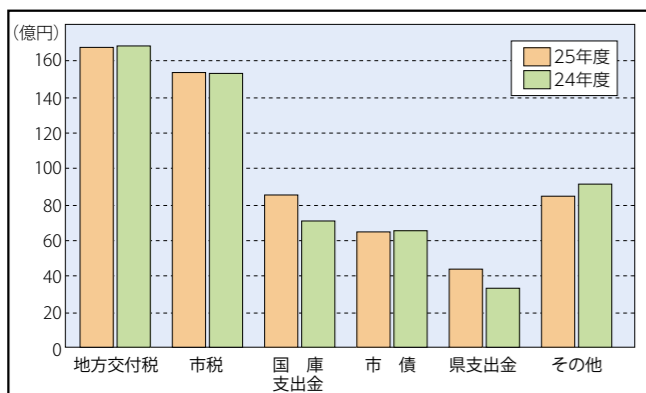
	平成25年度決算額	平成24年度決算額	対前年度増減額
義務的経費	294億1,693万円	296億4,842万円	▲2億3,149万円
人件費	90億7,481万円	96億3,550万円	▲5億6,069万円
扶助費	117億2,532万円	113億6,341万円	3億6,191万円
公債費	86億1,680万円	86億4,951万円	▲3,271万円
投資的経費	112億1,400万円	104億7,331万円	7億4,069万円
普通建設事業費	110億4,746万円	102億1,090万円	8億3,656万円
災害復旧事業費	1億6,654万円	2億2,241万円	▲9,587万円
その他の経費	161億7,354万円	152億4,295万円	9億3,059万円
物件費	60億8,501万円	58億5,934万円	2億2,567万円
維持補修費	3億9,277万円	3億9,449万円	▲172万円
補助費等	22億8,912万円	22億5,675万円	3,237万円
積立金	19億5,176万円	13億7,921万円	5億7,255万円
投資・出資・貸付金	1億4,227万円	1億4,481万円	▲2,254万円
繰出金	53億1,261万円	51億6,835万円	1億4,426万円
計	568億 447万円	553億6,468万円	14億3,979万円



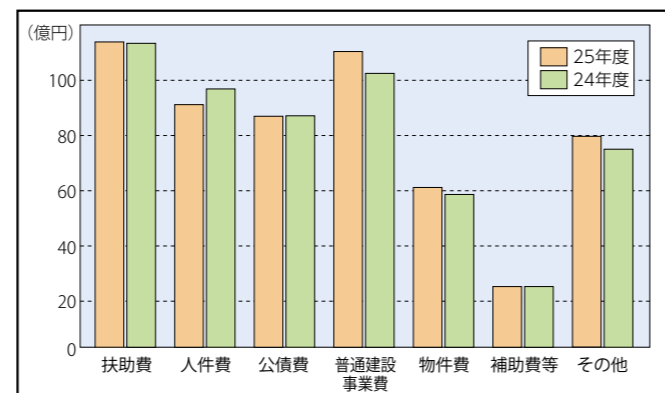
- 【用語説明】**
- 人件費：職員の給料、手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使われたお金。
 - 扶助費：生活保護費や児童手当、障がい者などへの支援に使われたお金。
 - 普通建設事業費：道路や橋りょう、学校、庁舎などの建設事業に使われたお金。
 - 災害復旧事業費：災害によって被害を受けた道路や公共施設などを復旧するために使われたお金。

- 物件費：備品購入費や委託料、臨時職員の賃金、消耗品の購入などに使われたお金。
- 維持補修費：道路や公共施設などの軽微な補修に使われたお金。
- 補助費等：各種団体への補助金や協議会などの負担金に使われたお金。
- 積立金：基金(市の貯金)へ積み立てたお金。
- 投資・出資・貸付金：奨学金の貸付などに使われたお金。
- 繰出金：特別会計へ繰り出したお金。

◎主な歳入の前年度比較



◎主な歳出の前年度比較



◎特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	147億7,263万円	148億5,526万円	▲8,263万円
後期高齢者医療特別会計	11億7,445万円	11億7,167万円	278万円
介護保険特別会計	97億6,641万円	93億9,623万円	3億7,018万円
交通災害共済事業特別会計	2,967万円	2,239万円	728万円
下水道事業特別会計	15億8,195万円	15億4,367万円	3,828万円
温泉供給特別会計	8,421万円	8,054万円	367万円
計	274億 932万円	270億6,976万円	3億3,956万円

※国民健康保険特別会計の歳入が歳出に対して不足する額は、繰上充用（翌年度の歳入を繰り上げること）により措置しています。

◎企業会計決算

企業会計名	収益的収入および支出		資本的収入および支出	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	22億1,444万円	17億2,682万円	6,796万円	10億4,575万円
工業用水道事業	697万円	472万円	0円	1,961万円
病院事業	45億6,971万円	42億2,053万円	5,586万円	3億9,406万円
計	67億9,112万円	59億5,207万円	1億2,382万円	14億5,942万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金、利益剰余金などで補っています。

◎一般会計および特別会計の市債借入状況

借入先	平成25年度末借入金残高
財政融資	367億3,221万円
旧郵政公社資金	65億1,318万円
地方公共団体金融機構資金	125億 412万円
市中銀行	79億8,290万円
その他	107億4,208万円
計	744億7,449万円

(企業会計を除く)

◎一般会計および特別会計の財産状況

区分	平成25年度末現在高	
土地(うち市有林)	3,591㎡ (1,963㎡)	
建物	903,425㎡	
計	208億9,366万円	
基金	財政調整基金	70億8,126万円
	減債基金	13億8,856万円
	特定建設事業基金	31億2,430万円
	その他の基金	92億9,954万円
有価証券	2億3,152万円	

(企業会計を除く)

◎主な指数など（決算統計・健全化法）

指数など	平成25年度	平成24年度
1 財政力指数	0.54	0.52
2 経常収支比率	85.0%	86.0%
3 実質赤字比率	-%	-%
4 連結実質赤字比率	-%	-%
5 実質公債費比率(3か年平均)	10.3%	10.9%
6 将来負担比率	39.3%	49.4%
7 資金不足比率	-%	-%

【用語説明】

1 財政力指数

地方公共団体の財政力を判断する指数で、地方交付税法の規定により算定された基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3年間の平均値です。一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされています。

2 経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する最も一般的な指数で、歳出の経常的経費に充当された一般財源などの歳入の経常一般財源などに占める割合です。比率が低いほど財政構造に弾力性があるとされています。

3 実質赤字比率

一般会計などを対象とした実質赤字の標準額の標準財政規模に対する比率です。黒字の場合、「- %」で示されます。

4 連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字額または資金の不足額の標準財政規模に対する比率です。黒字の場合、「- %」で示されます。

5 実質公債費比率

地方公共団体の収入に対する借金返済額の比率を示すものです。普通会計の公債費に下水道事業特別会計や水道事業会計などへの繰出金(公債費相当額)を加算し、財政負担の度合いを判断するもので、18%以上で地方債発行について国や県の許可が必要とされ、25%以上で一部の地方債の発行について制限されます。

6 将来負担比率

地方公共団体の一般会計などの借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。350%を超えると健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければなりません。

7 資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率です。資金不足額がない場合、「- %」で示されます。(霧島市の公営企業会計：水道事業、工業用水道事業、病院事業、下水道事業、温泉供給)